



日本ヒューレット・パカード株式会社
〒102-0076
東京都千代田区五番町7番地
www.hp.com/jp

お客様各位

2007年8月

ソフトウェア情報サービス

HP Software アップデートリリースのご案内

HP Performance Insight software v5.2 & Report Pack English 2007年4月版 ---PIN520/ORPAP7
HP Extensible SNMP Agent software v4.21 ---EAS421

アップグレードお申し込み期限：2008年7月31日

HP Performance Insight software v5.2 とReport Pack English 2007年4月版のご案内

本書では、HP Performance Insight (PI) software version 5.2 の一部の新しい機能とその強化についてご説明いたします。

以下が、PI 5.2 リリースの主要点です。

- 新しくサポートされるプラットフォームとデータベース
 - ・Red Hat Enterprise Edition Linux Version 4、update 3
 - ・Sybase 15.0.1 database
 - ・Oracle 10g R2 Version 10.2.0.3
- 拡張性とパフォーマンスの強化
 - ・ロケーションに依存しないレポーティングは、OVPI の分散環境でセットアップする際の拡張性を高める
 - ・機能が向上した Oracle partition management によるパフォーマンスの向上
- Internal Monitoring
 - ・主要な OVPI プロセスとコンポーネントのステータスを監視
 - ・管理コンソールでのステータス情報の表示
- Long Term Retention (LTR)
 - ・データの長期保管の実現
 - ・選択された時間範囲により、保管データ同様、使用中のデータからのレポートの提供

- インデックス ポリシーの変更
 - ・各テーブルの独立したインデックス管理を許可することで OVIP 管理者の制御を向上

- Location Independent Reporting (LIR)
 - ・サテライト サーバからセントラル サーバへすべてのレート データをコピーすることなく、ほぼリアルタイムの統合レポートを分散構成の OVPI で作成

- PA Collection 強化、HTTPS 収集、認証管理
 - ・OVPA 4.5 agents からの HTTPS の収集
 - ・HTTPS を使用してエージェントとコミュニケーションする際に必要な認証の管理をする認証管理ウィザード
 - ・行処理のサポート
 - ・新しい OVPA ベースのコレクションを作成するための収集ウィザード

- 管理コンソールのユーザインターフェースを新しくデザイン

- SHS 2*Collector のサポート
 - ・構成可能な特定のトリガ (エラー状況) に対するデバッグとログを自動化する HP Self Healing Services との統合

- PI – NNM Integration の ユーティリティを強化

- ノード削除
 - ・すべてのデータとプロパティ情報、またはデータのみを削除するオプションありでノード削除が可能
 - ・削除したノードを再度ディスカバーすることを防止

- **拡張性とパフォーマンスの強化**
 - **Oracle Partitioning**
 - 5.1 まで、Oracle partitioning の機能の可能性は完全には活用されていませんでした。5.2 からは、パフォーマンスを最適化するためにパーティションを利用できるよう、必要な変更を加えました。時間タイプに基づいて、データテーブル用に正確なパーティションを作成しました。hourly テーブル用に hourly パーティション、daily テーブル用に daily パーティション、rate テーブル用に hourly パーティションを作成することにより、レポートとサマリーのパフォーマンスを向上させます。
 - 上記の変更により、db_delete_data がパーティションの削除を行うだけで対象データの age-out が可能になります。これにより、db_delete_data のパフォーマンスが大幅に向上します。
 - アーカイブがオンのとき、オラクルのパーティション移動機能を使用することにより、アクティブテーブルからアーカイブ テーブルへのデータ移動が確実になります。パーティション移動は db_delete_data により行います。詳細は、LTR をご参照ください。

注記: パーティショニング機能は Sybase では使用できません。

- **インデックス プロファイル**
インデックス プロファイルは、管理者に、異なるタイプのテーブルに対してきめ細かいインデックス管理が可能となる柔軟性を与えます。すべてのテーブルのインデックス管理を同時に行うのに対し、ある期間にわたって個別におこなえるようになります。
- **Location Independent Reporting (LIR)**
LIR は、PI が分散環境においてセットアップされているとき、サテライト サーバからセントラル サーバへすべてのレート データをコピーすることなく、ほぼリアルタイムで PI 監視ネットワーク全体の統合レポートを作成します。
- **OVPA Collection Enhancement**
収集が停止してから長時間経過した後、収集が再開したとき、pa_collect はエージェントに、最後に正常にデータを収集したポーリング以降のすべてのデータを要求します。これは膨大な量のデータになる場合もあるため、pa collection のパフォーマンスに重度な影響を与えることもあります。\$DPIPE_HOME/data/pa_rpt.cnfg に MaxHistoryPoll フィールドを構成することが可能になります。これにより、収集が停止してから長時間経過した後、収集が再開したとき、pa_collect がどれだけ遡ってデータを収集するかを指定することができます。
- **Long Term Retention**
多くのお客様が、収集データ (およびレート データ) を長期間保管しなければならない状況下にあります。PI による何らかのアーカイブ サポートがない限り、お客様はデータ テーブルの保存期間を増やさなければなりません。このことは、それらのデータ テーブルに基づいたサマリーとレポートの性能に影響を及ぼします。5.2 はデータの保存期間を超えたアーカイブデータの保存が可能になります。このサポートにより、アクティブなデータ テーブルが縮小し、サマリーとレポートの性能を維持することが可能になります。

HP Extensible SNMP Agent Software のご案内

HP Extensible SNMP Agent Software は、迅速かつ容易に UP-UX と Solaris systems の管理性の拡張を実現します。すべてのタイプの SNMP management information base (MIB) オブジェクトをサポートすることにより、SNMP 管理プラットフォーム経由で利用可能なネットワーク、システム、アプリケーション管理情報を、プログラミングすることなしに、完全にカスタマイズ、拡張することができます。

HP Extensible SNMP Agent Software v4.21 は、以下のようにアップデートされました。

- HPUX 11iv2 for Integrity および PA-RISC systems のサポート
- HPUX 11iv3 for Integrity および PA-RISC systems のサポート
- Solaris 10 のサポート
- マイナー バグ修正

製品のマニュアルは、CD メディアにソフトウェアとあわせて収録されています。HP Extensible SNMP Agent v4.21 は、新規のお客様、および新しいオペレーティング システムに移行される既存のお客様を対象としています。

HP Extensible SNMP Agent の特徴と機能についての詳細は、ソフトウェアに収録されているリリースノートをご参照ください。

詳細情報とサポート

このアップグレードについての技術的なご質問につきましては、HP のサポート契約をお持ちのお客様は、www.hp.com/managementsoftware/services の技術情報を参照していただけます。技術情報から解決できない場合は、サポート コール www.hp.com/managementsoftware/submit_call をご利用ください。HP の SI 提携会社とご契約の場合、ご契約いただきました SI 提携会社にお問い合わせください。